

大阪市立巽東小学校 令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書  
(補足説明資料)

本校では、基礎的・基本的な学力の定着や自尊感情の高揚、規範意識の醸成などを目標に、別紙のとおり具体的な取り組みを進め、指標を設定し事業前後の効果を測ることとした。

1－1. 取組内容①について

(1) 取組を実施する必要性

本校では、廊下・階段の歩行など学校のきまりが十分に守られていない実態があり、この課題を克服するために「施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現」の一環として、安全・安心な生活についての指導を徹底することとし、そのための手立てとして教職員の指導力向上を目指した生活指導研修会を開催した。

(2) 取組を実施することにより期待できる効果

経験豊富な講師を招聘し生活指導研修会を実施することにより、児童の実態に即した指導が進められると考えられる。

(3) 具体的な実施内容

7月の校内研修会で元中学校教員である大学教授を講師とした生活指導研修会で学んだことを活かし、①「安全歩行週間」の実施②廊下や通行方向の矢印やコーンの設置③児童会による啓発活動の実施などの取組を行うことにつながった。

(4) 取組に対する達成状況（A～D）及びその評価理由

- ・取組に対する達成状況：C
- ・①②③の取り組みを通して児童への意識づけを行うことができたが、主体的に行動するところまでには至らなかったため評価をCとした。

1－2. 取組内容②について

(1) 取組を実施する必要性

互いの違いを認め合い、ともに高め合える集団の育成を目指し、「施策2 道徳心・社会性の育成」の一環として、異学年交流や多文化共生の取組を実施する。

(2) 取組を実施することにより期待できる効果

多文化共生については、外国の方を講師として招聘し児童の体験活動を実施することで互いの違いを知り、より外国の文化への理解が深まると考えられる。

### （３）具体的な実施内容

２月に外国の方を講師として「外国の遊び」体験を実施し、外国の文化に触れる機会を設定する。

### （４）取組に対する達成状況（Ａ～Ｄ）及びその評価理由

- ・取組に対する達成状況：Ｂ
- ・集会活動やたてわり活動等を通して、友だちと協力して活動する機会を設けた。また、外国の遊びを通して、異なる文化に触れることで、外国にルーツを持つ友だちのことを理解するよい機会となった。アンケート調査の結果においても前年度より「仲間を大切にできている」と答える児童が増えたため評価をＢとした。

## １－３．取組内容③について

### （１）取組を実施する必要性

本校の実態として、積極的に学習に取組ことができなかつたり、初めからあきらめてしまつたりしている児童がみられる。児童に学習意欲を持たせるための工夫や体験的な学習を通した「わかる授業」づくりを進めることとした。

### （２）取組を実施することにより期待できる効果

ＩＣＴ機器を活用した授業や社会見学など実際に目で見たり、手で触れたりする活動を多く取り入れることで、学習意欲を高めるとともに学習内容の理解につながると考える。

### （３）具体的な実施内容

教材提示用パソコンを活用することで、より視覚的に学習内容を理解させる。学年ごとに複数回社会見学を実施し、教科書で学習したことを実際に確認することでより深い学びにつなげる。

### （４）取組に対する達成状況（Ａ～Ｄ）及びその評価理由

- ・取組に対する達成状況：Ｂ
- ・「わかる授業」づくりに向け、各学年で様々な工夫を行った結果校内アンケートにおいて前年度より「授業が分かりやすい」と回答する児童が増加したため評価をＢとした。

## ２－１．総論

本校では、上記の目標を達成するために、令和元年度末の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を８０％以上にするという目標に対して７９．６％とほぼ目標を達成することができた。また、様々な活動を通じて、仲間を大切にし、ともに高め合える集団を育成が図られた。学校生活アン

ケートの「仲間を大切にできているか」の項目で「はい」の割合は 95.6%となり前年度（93%）より向上した。「わかる授業づくり」に関しては、令和元年度における校内調査で「授業が分かりやすい」と答える児童の割合は 88.9%となり前年度（85%）より向上させることができた。以上の結果から、年度目標に対する達成状況を「B」評価とした。

いずれの項目においても、取組の成果が一定みられ少しずつではあるが課題の解決が進んでいる。しかし、自他を尊重し互いに高めあう集団の育成や、主体的に学校のきまりを守ること、さらには、基礎・基本の学力の向上などについては、克服すべき課題も大きく、次年度以降もさらに取組の充実や改善を進めていく必要がある。

## 2－2．学校協議会における意見

学校協議会において、今年度の学校の取組内容や自己評価について承認を得ることができた。その中で「きまりを守ること」や授業の工夫については次年度以降も継続して取組むことなど意見をいただいた。取組の状況については今年度と同様にホームページ等で随時発信することを確認した。